

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第7週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（7週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	皮膚結核	頸部皮膚潰瘍、皮下結節
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	—	腹痛、O8(VT2)
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	20歳代	女	腸管アメーバ症	下痢、粘血便
	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	70歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度: 確実	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態、筋強剛
	梅毒	宮崎市	50歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
			60歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、扁平コンジローマ
	梅毒	都城	30歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	初期硬結

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,689 人(定点当たり 53.9)で、前週比 78%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 559 人(9.6)で、前週比 71%と減少した。延岡(16.0)、中央(12.5)、高千穂(11.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

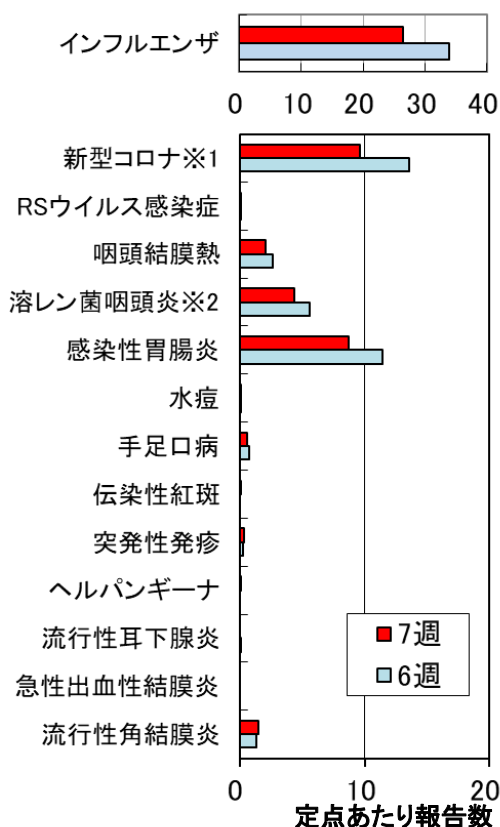
##### 【インフルエンザ】

報告数は 1,535 人(26.5)で、前週比 78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(9.1)の約 2.9 倍であった。延岡(38.0)、中央(30.5)、都城(30.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は 73 人(2.0)で、前週比 77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.44)の約 4.6 倍であった。中央(10.0)、日南(4.0)、小林(2.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 6 歳が全体の約 9 割を占めた。

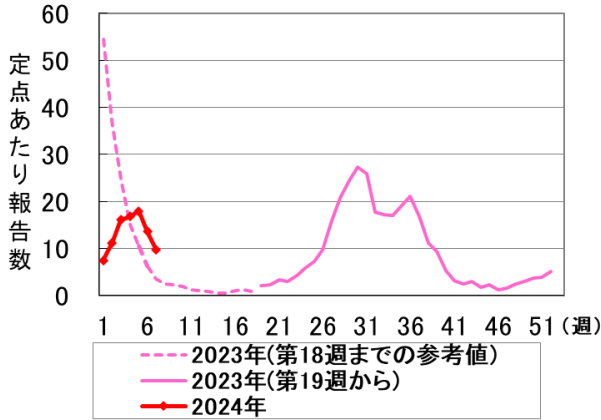
《前週との比較》



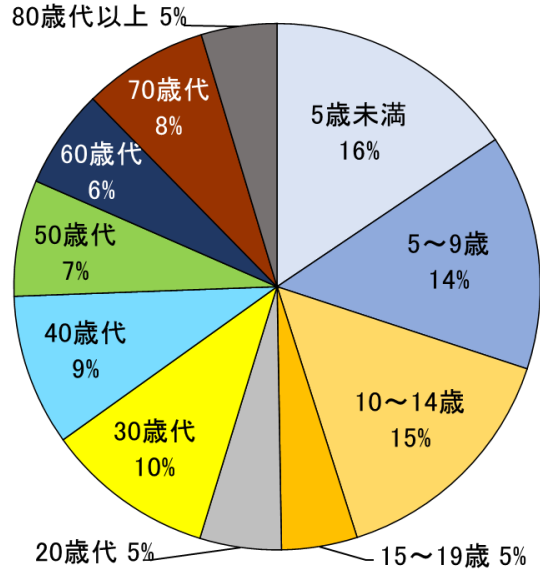
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

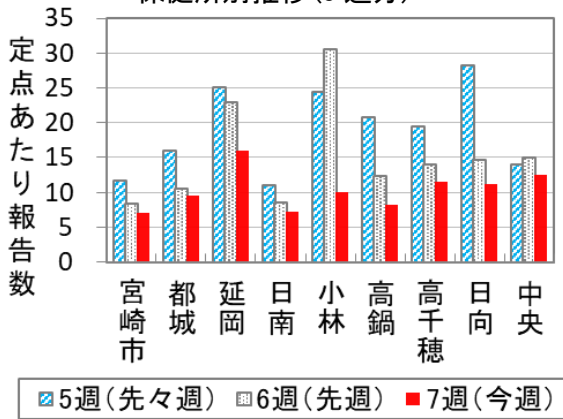
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第7週)

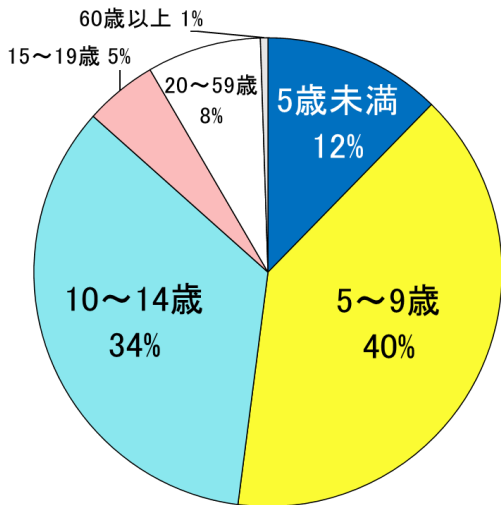


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

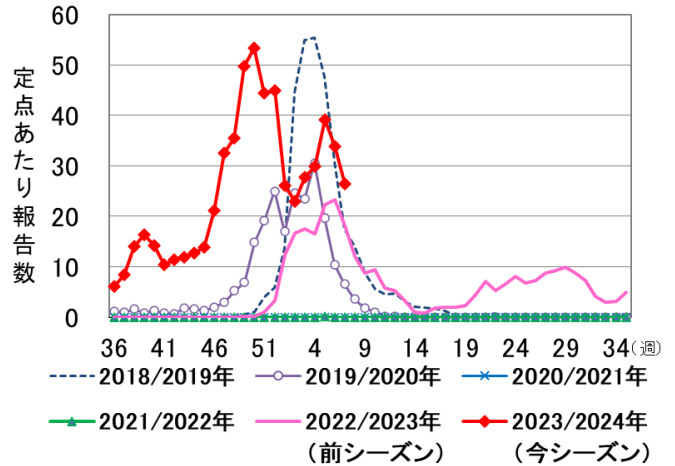


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

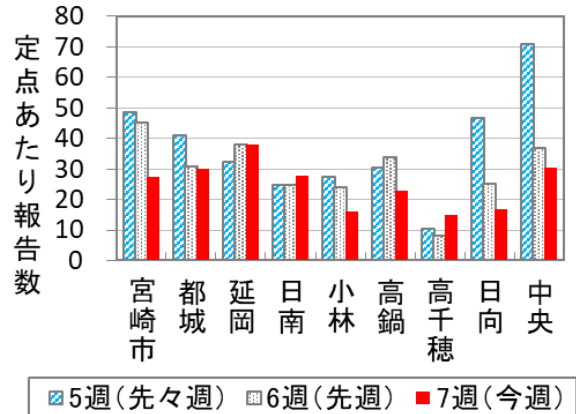
インフルエンザ年齢群別グラフ(第7週)



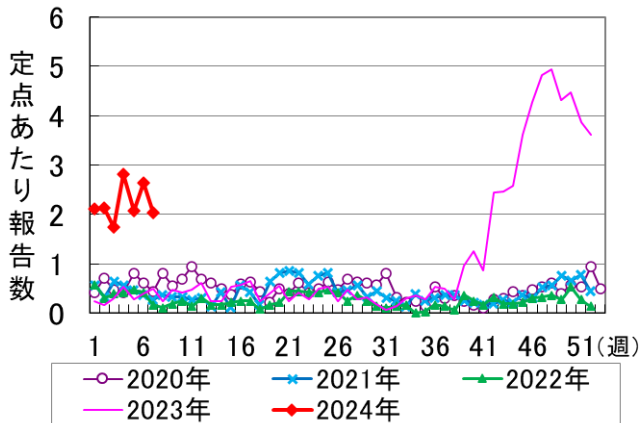
インフルエンザ 発生状況



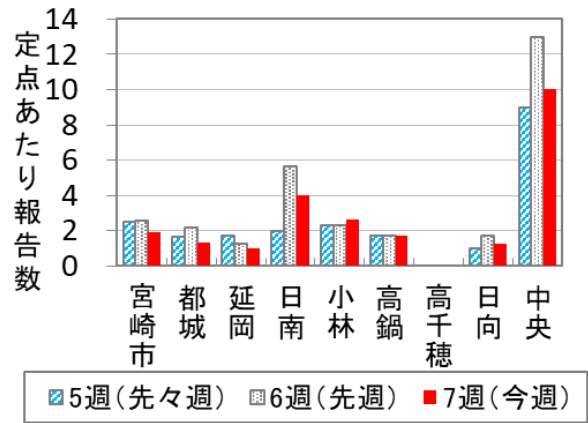
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(27.3)
都城	インフルエンザ(30.0)
延岡	インフルエンザ(38.0)
日南	インフルエンザ(27.8)、咽頭結膜熱(4.0)
小林	インフルエンザ(16.0)
高鍋	インフルエンザ(23.0)
高千穂	インフルエンザ(15.0)
日向	インフルエンザ(16.8)
中央	インフルエンザ(30.5)、咽頭結膜熱(10.0)、水痘(1.0)、手足口病(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年2月19日までに検出）

★細菌 報告なし

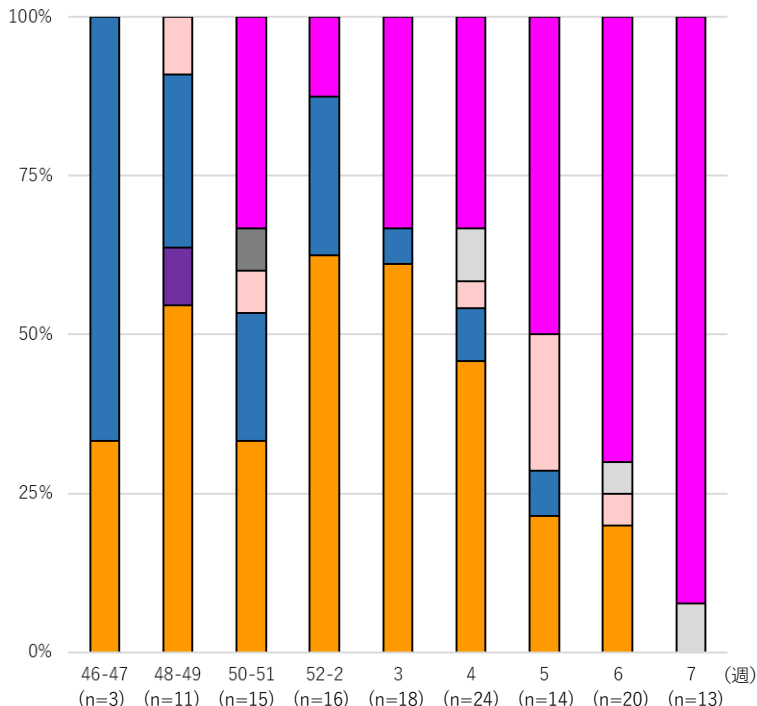
★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	60歳代	女	2023.12.18	インフルエンザウイルスA型、38.7℃、咽頭痛、咳、鼻水	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.07
Influenza virus A H3	10歳代	女	2023.12.18	インフルエンザウイルスA型、40.2℃、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2024.02.07
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	女	2023.12.25	インフルエンザウイルスA型、39.0℃、咽頭痛、気管支炎	鼻汁	2024.02.07
Influenza virus A H3	50歳代	男	2023.12.25	インフルエンザウイルスA型、37.5℃、上気道炎(咽頭痛)、頭痛、咳、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.07
Influenza virus A H3	10歳代	男	2023.12.26	インフルエンザウイルスA型、39.3℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2024.02.07
Influenza virus A H1pdm09	0～4歳	男	2024.01.04	インフルエンザウイルスA型、40.0℃、気管支炎	鼻汁	2024.02.07
Influenza virus A H3	60歳代	男	2024.01.04	インフルエンザウイルスA型、40.5℃、関節痛、咳、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2024.02.07
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2024.01.09	インフルエンザウイルスA型、38.8℃、咽頭痛	鼻汁	2024.02.07

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.2.75系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.86系統
- BA.5系統



○第7週でBA.2.86系統が約92%を占め、JN.1系統(BA.2.86.1の子孫株)は約62%を占めた。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1(BA.2.10.1系統) / BM.1.1.1(BA.2.75.3系統)の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 全国 2024 年第 6 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	217 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例		
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	33 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例	急性脳炎	9 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	35 例	後天性免疫不全症候群	14 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	36 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	140 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	8 例

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比97%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症と手足口病であった。

インフルエンザの報告数は117,652人(23.9)で前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(10.1)の約2.4倍であった。福岡県(56.5)、佐賀県(38.2)、熊本県(34.8)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約8割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は67,614人(13.8)で前週比85%と減少した。石川県(21.9)、愛知県(20.1)、群馬県(19.9)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第07週(02月12日~02月18日)

疾病名		第06週	第07週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1961	1535	436	300	266	139	64	138	30	101	61
	定点当り	33.81	26.47	27.25	30.00	38.00	27.80	16.00	23.00	15.00	16.83	30.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	786	559	112	95	112	36	40	49	23	67	25
	定点当り	13.55	9.64	7.00	9.50	16.00	7.20	10.00	8.17	11.50	11.17	12.50
RSウイルス感染症	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	95	73	19	8	4	12	8	7		5	10
	定点当り	2.64	2.03	1.90	1.33	1.00	4.00	2.67	1.75	0.00	1.25	10.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	201	158	58	25	20	22	7	14	2	10	
	定点当り	5.58	4.39	5.80	4.17	5.00	7.33	2.33	3.50	2.00	2.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	411	314	70	73	14	23	57	48	4	21	4
	定点当り	11.42	8.72	7.00	12.17	3.50	7.67	19.00	12.00	4.00	5.25	4.00
水痘	報告数	1	4					1	2			1
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	25	20	5	7	1					1	6
	定点当り	0.69	0.56	0.50	1.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	6.00
伝染性紅斑	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	10	13	2	2	4		1	2		2	
	定点当り	0.28	0.36	0.20	0.33	1.00	0.00	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	9	6	2	1						
	定点当り	1.33	1.50	2.00	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週~7週 保健所受理分)

2類感染症	結核	10例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例	
				レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例(1)	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	27例(3)	
				劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例

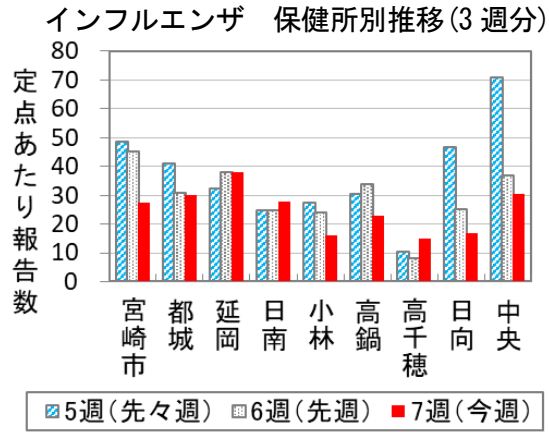
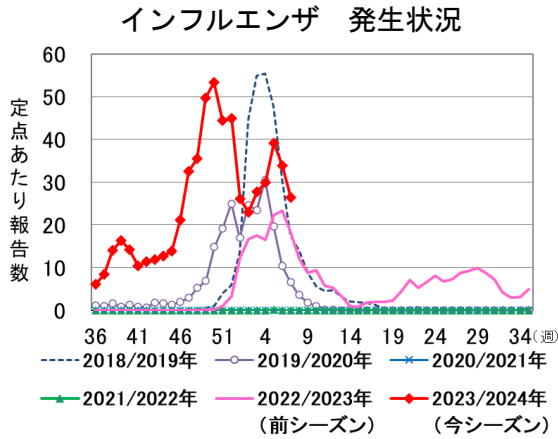
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第7週、全国第6週（再掲）》

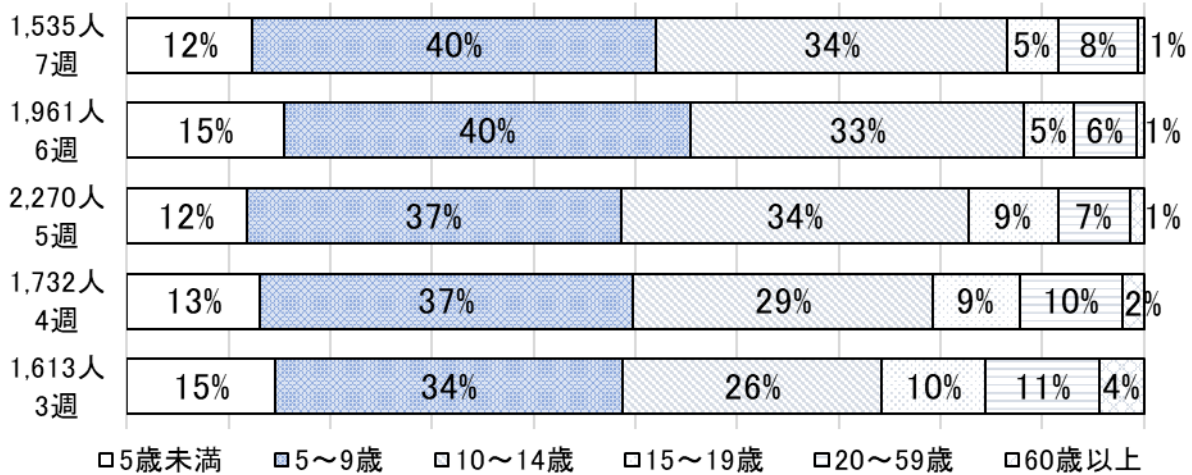
### □ 県内第7週インフルエンザ発生動向

2月12日～2月18日までの1週間で1,535人(26.5)の報告があった。前週比78%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*(9.1)の約2.9倍であった。

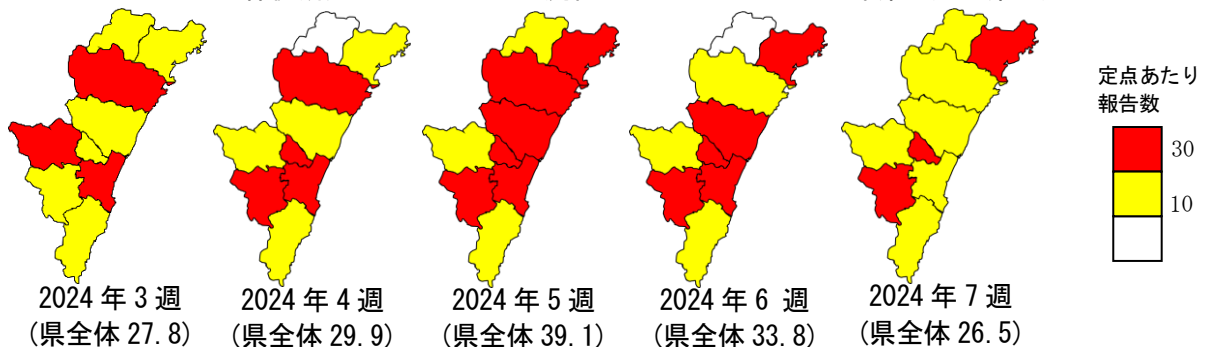
\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



年齢群別割合の推移(2024年第3週～第7週)



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第3週～第7週



### □ 全国第6週インフルエンザ発生動向

2月5日～2月11日までの1週間で117,652人(23.9)の報告があった。前週比106%と増加し、福岡県(56.5)、佐賀県(38.2)、熊本県(34.8)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の11%、5-9歳が40%、10-14歳が32%、15-19歳が6%、20-59歳が10%、60歳以上が1%であった。